

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法II (2 単位)	3. 科目番号	EJJP3154
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、討論、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教授法I」を履修済みであることが望ましい。		
7. 講義概要	<p>日本語教授法Iで培った日本語の基礎知識を踏まえて、日本語教育においてどのような教育方法が望ましいかを追求していく授業である。さまざまな教授法の長所を生かし、より良い教授法を模索していくことが重要である。</p> <p>日本語教育の現状の分析に基づき、言語教育理論の成果も取り入れて、教授法の理論とその実践方法を学習していく。また、模擬授業はグループごとに課題を行う。その後フィードバックや討論を行い、各自がレポートにまとめて提出する。</p>		
8. 学習目標	<p>1. 日本語教師の役割と、日本語を教えることの目的や意義を理解できる。</p> <p>2. 初級と中上級の教え方の違いについて理解できる。</p> <p>3. 中上級の聴解・会話の教え方について理解し指導できる。</p> <p>4. 中上級の読解の教え方について理解し指導できる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 模擬授業の準備 (教案・教材作成) をする。 (10 点×2 回)</p> <p>2. 模擬授業をする。 (10 点×2 回)</p> <p>3. 期末課題 (授業記録とルーブリック評価) を提出する。 (30 点)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】授業内でプリントを配布する。</p> <p>【参考書】授業内で適宜紹介する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 教え方についての理論が理解できたか。</p> <p>2. 教え方について指導実践できたか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <p>1 授業への出席・受講態度 総合点の30%</p> <p>2 期末試験 (レポート) 総合点の30%</p> <p>3 課題・発表 総合点の40%</p> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	これまで学習した日本語教育に関する知識を生かし、実際に教壇に立って教える練習をします。クラスメイトとアイデアを出し合い、楽しく模擬授業を体験してください。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法) 日本語教師の仕事と役割	事前学習	シラバスを読み、講座の概要を理解する。
		事後学習	日本語教師の役割を自分の言葉で整理する。
第 2 回	教授法の種類、レベル別教授法、技能別練習方法	事前学習	外国語教授法について調べておく。
		事後学習	教授法の種類を分類し、整理する。
第 3 回	初級教材の分析、初級授業の実践例	事前学習	初級の教科書をインターネットで検索する。
		事後学習	初級授業の教案と動画を検索する。
第 4 回	課題提示、教案の作成方法、教具の活用方法	事前学習	指導案や教案の書き方の例を調べておく。
		事後学習	単元目標を理解し、授業展開の構想を練る。
第 5 回	教案・教材の作成、ルーブリック評価項目の説明	事前学習	模擬授業のための教案と教材を作成する。
		事後学習	作成した教案と教材を自己点検する。
第 6 回	指導技術 (話し方、発問、誤用訂正)	事前学習	授業内での教師の振る舞いをイメージする。
		事後学習	指導技術を踏まえた上で教案を再点検する。
第 7 回	グループ活動 (初級模擬授業、意見交換、自己評価)	事前学習	模擬授業がスムーズに行えるよう練習する。
		事後学習	クラスメイトの意見と自己評価を比較する。
第 8 回	初級模擬授業の振り返り、改善点	事前学習	模擬授業の感想と自己評価を記録しておく。
		事後学習	ルーブリック評価と改善点を記入する。
第 9 回	中上級教材の分析、中上級授業の実践例、課題提示	事前学習	中上級の教科書を検索し、特徴を整理する。
		事後学習	単元目標を設定し、授業展開の構想を練る。
第 10 回	教案・教材作成	事前学習	導入する語句と例文を考える。
		事後学習	模擬授業のための教案と教材を作成する。
第 11 回	グループ活動 (教案・教材の点検)	事前学習	作成した教案と教材を自己点検する。
		事後学習	意見を受けて教案と教材を修正する。
第 12 回	グループ活動 (中上級模擬授業、意見交換、自己評価)	事前学習	模擬授業がスムーズに行えるよう練習する。
		事後学習	クラスメイトの意見と自己評価を比較する。
第 13 回	中上級模擬授業の振り返り、改善点	事前学習	模擬授業の感想と自己評価を記録しておく。
		事後学習	ルーブリック評価と改善点を記入する。
第 14 回	模擬授業の総点検、授業記録完成	事前学習	授業記録を作成する。
		事後学習	授業記録 (期末課題) を提出する。
第 15 回	日本語教育実習の概要、PDCA サイクル、アンケート	事前学習	学んだことを振り返り、疑問点を整理する。
		事後学習	今後の目標を定め、学習計画を立てる。